



## 2021年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年8月13日

上場会社名 かっこ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4166 URL https://cacco.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 岩井 裕之  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理部門管掌CFO (氏名) 関根 健太郎 TEL 03 (6447) 4534  
 四半期報告書提出予定日 2021年8月13日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年12月期第2四半期の業績 (2021年1月1日～2021年6月30日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	450	-	94	-	90	-	61	-
2020年12月期第2四半期	-	-	-	-	-	-	-	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第2四半期	23.54	21.52
2020年12月期第2四半期	-	-

(注) 2020年12月期第2四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2020年12月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率並びに2021年12月期第2四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第2四半期	1,317	1,212	91.8
2020年12月期	1,822	1,148	62.8

(参考) 自己資本 2021年12月期第2四半期 1,209百万円 2020年12月期 1,145百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2021年12月期	-	0.00	-	-	-
2021年12月期 (予想)	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年12月期の業績予想 (2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	909	9.4	154	11.8	149	29.3	102	△21.3	39.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期2Q	2,621,399株	2020年12月期	2,619,581株
② 期末自己株式数	2021年12月期2Q	－株	2020年12月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期2Q	2,620,191株	2020年12月期2Q	－株

(注) 1. 当社は、2020年12月期第2四半期累計期間については四半期財務諸表を作成していないため、2020年12月期第2四半期における期中平均株式数を記載しておりません。

2. 当社は、2020年8月12日開催の取締役会決議により、2020年9月9日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明内容の入手方法)

四半期決算補足説明資料「2021年12月期第2四半期決算説明資料」は、T D n e tで同日開示した後に当社ウェブサイトに掲載する予定です。また、当社は、2021年8月13日（金）に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会の動画及び当日配布する決算説明会資料については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第2四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間(2021年1月1日～2021年6月30日)における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から引き続き厳しい状態にあり、今後、ワクチン接種の浸透に伴う感染者の減少や政府の経済対策効果等が期待されるものの、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

消費者向け電子商取引(BtoC-EC)市場は、経済産業省による2020年の調査「令和2年度産業経済研究委託事業(電子商取引に関する市場調査)報告書」によると、主として旅行サービスの縮小に伴うサービス系分野の大幅な減少により、市場全体は前年比0.43%減の19.3兆円にとどまったものの、新型コロナウイルス感染症拡大の対策として外出自粛の呼びかけ及びECの利用が推奨された結果、物販系分野は前年比21.71%増と大幅な拡大となりました。また、EC化率(全ての商取引市場規模に対する電子商取引市場規模の割合)が前年比1.32ポイント増の8.08%となるなど、BtoC-EC市場は依然として着実な成長を続けております。

一方、クレジットカード番号等の情報を盗まれ不正に使われる「番号盗用被害」が急増している近年の状況を受け、改正割賦販売法において、クレジットカード番号等の不正な利用を防止するために必要な措置を講じることが義務化され、また、その実務上の指針となる、「クレジットカード・セキュリティガイドライン2.0版(クレジットカード取引セキュリティ協議会)」においては、非対面取引におけるクレジットカードの不正利用対策として、加盟店に対して「属性・行動分析(不正検知システム)」等の方策をリスク状況に応じて導入することが求められるなど、不正対策に対する社会的要請はますます高まっております。

このような事業環境のもとで、当社は「未来のゲームチェンジャーの『まずやってみよう』をカタチに」という経営ビジョンを掲げ、当社の有するセキュリティ・ペイメント・データサイエンスの技術とノウハウをもとに、アルゴリズム及びソフトウェアを開発・提供することで、企業の課題解決やチャレンジを支援する「SaaS型アルゴリズム提供事業」を展開してまいりました。

不正検知サービスにおいては、不正注文検知サービス「0-PLUX」について、外部データベース連携の拡充等機能強化を図るとともに、ECパッケージ・ショッピングカートベンダーとのシステム連携の推進に努めた結果、新規顧客の増加及び既存顧客の持続的な成長により、当第2四半期累計期間の「0-PLUX」のストック収益額(定額課金である月額料金と審査件数に応じた従量課金である審査料金の合計額)は340,569千円(前年同期比21.5%増)に拡大しました。また、不正アクセス検知サービス「0-MOTION」について、2021年3月に端末特定等の技術に関する特許を取得する等、引き続き検知精度向上及び機能充実を図るとともに、多分野での販路開拓に取り組んでまいりました。

決済コンサルティングサービスにおいては、システム開発案件の受注獲得に努め、また、データサイエンスサービスにおいては、1億レコードまで30営業日で集計・解析・報告を行う新たなデータ分析サービス「さきがけKPI」の販売拡大に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は450,497千円、営業利益94,677千円、経常利益90,310千円、四半期純利益61,672千円となりました。

なお、当社はSaaS型アルゴリズム提供事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資金、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産は848,383千円となり、前事業年度末に比べ554,382千円減少いたしました。これは主に現金及び預金が552,942千円減少したことによるものであります。固定資産は469,019千円となり、前事業年度末に比べ48,847千円増加いたしました。これは主に不正検知サービスにおけるシステムのアーキテクチャ刷新に伴うソフトウェア開発により、ソフトウェア仮勘定が67,102千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は1,317,403千円となり、前事業年度末に比べ505,535千円減少いたしました。

##### (負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債は101,083千円となり、前事業年度末に比べ282,399千円減少いたしました。これは主に1年内返済予定の長期借入金が184,893千円減少したこと及び1年内償還予定の社債が30,000千円減少したこと並びに未払金が59,584千円減少したことによるものであります。固定負債は3,939千円となり、前事業年度末に比べ287,070千円減少いたしました。これは主に財務体質の改善及び経営効率の向上を目的とした有利子負債の繰上返済により、長期借入金が212,070千円減少したこと及び社債が75,000千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は105,022千円となり、前事業年度末に比べ569,469千円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は1,212,380千円となり、前事業年度末に比べ63,934千円増加いたしました。これは主に四半期純利益の計上により利益剰余金が61,672千円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は91.8%（前事業年度末は62.8%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ552,942千円減少し、740,235千円となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得た資金は、56,928千円となりました。主な要因は、法人税等の支払額が15,607千円、未払金の減少額が19,409千円あったものの、税引前四半期純利益90,310千円の計上があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出した資金は、102,118千円となりました。主な要因は、不正検知サービスにおけるシステムのアーキテクチャ刷新等に伴う無形固定資産の取得による支出98,309千円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により支出した資金は、507,752千円となりました。主な要因は、財務体質の改善及び経営効率の向上を目的とした有利子負債の繰上返済に伴う長期借入金の返済による支出396,963千円、社債の償還による支出105,000千円があったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月10日付で「2020年12月期決算短信」において公表いたしました2021年12月期通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年12月31日)	当第2四半期会計期間 (2021年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,293,177	740,235
売掛金	89,922	84,928
仕掛品	135	—
前払費用	16,580	22,435
その他	2,950	783
流動資産合計	1,402,765	848,383
固定資産		
有形固定資産	12,423	11,865
無形固定資産		
ソフトウェア	16,834	13,930
ソフトウェア仮勘定	295,730	362,833
その他	1,414	1,362
無形固定資産合計	313,979	378,127
投資その他の資産	93,769	79,026
固定資産合計	420,172	469,019
資産合計	1,822,938	1,317,403
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	14,355	15,646
1年内返済予定の長期借入金	189,177	4,284
1年内償還予定の社債	30,000	—
未払金	88,316	28,732
未払法人税等	24,050	17,824
未払消費税等	13,037	13,189
賞与引当金	11,763	8,618
その他	12,782	12,789
流動負債合計	383,483	101,083
固定負債		
長期借入金	216,009	3,939
社債	75,000	—
固定負債合計	291,009	3,939
負債合計	674,492	105,022
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	362,499	363,178
資本剰余金	538,710	539,389
利益剰余金	244,524	306,196
株主資本合計	1,145,733	1,208,765
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△588	314
評価・換算差額等合計	△588	314
新株予約権	3,300	3,300
純資産合計	1,148,445	1,212,380
負債純資産合計	1,822,938	1,317,403

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
売上高	450,497
売上原価	116,381
売上総利益	334,116
販売費及び一般管理費	239,438
営業利益	94,677
営業外収益	
受取利息及び配当金	86
受取手数料	3
営業外収益合計	90
営業外費用	
支払利息	3,299
社債償還損	783
その他	375
営業外費用合計	4,457
経常利益	90,310
税引前四半期純利益	90,310
法人税、住民税及び事業税	12,874
法人税等調整額	15,763
法人税等合計	28,638
四半期純利益	61,672

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税引前四半期純利益	90,310
減価償却費及びその他の償却費	5,383
賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,145
受取利息及び受取配当金	△86
支払利息	3,299
売上債権の増減額(△は増加)	4,993
たな卸資産の増減額(△は増加)	135
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△3,688
仕入債務の増減額(△は減少)	1,290
未払金の増減額(△は減少)	△19,409
未払消費税等の増減額(△は減少)	152
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△3,742
その他	255
<b>小計</b>	<b>75,747</b>
利息及び配当金の受取額	86
利息の支払額	△3,299
法人税等の支払額	△15,607
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>56,928</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
投資有価証券の取得による支出	△309
有形固定資産の取得による支出	△3,499
無形固定資産の取得による支出	△98,309
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△102,118</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
長期借入金の返済による支出	△396,963
社債の償還による支出	△105,000
株式の発行による収入	1,359
上場関連費用の支出	△7,148
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△507,752</b>
<b>現金及び現金同等物の増減額(△は減少)</b>	<b>△552,942</b>
現金及び現金同等物の期首残高	1,293,177
<b>現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	<b>740,235</b>



(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

当第2四半期累計期間(自2021年1月1日至2021年6月30日)

当社は、SaaS型アルゴリズム提供事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。